西武鉄道

会社要覧2026

COMPANY
PROFILE
2026



Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。



西武鉄道株式会社
代表取締役社長
小川周一郎

地域や企業の皆さまとの連携により沿線価値向上と地域発展に努めてまいります。

代表取締役社長の小川周一郎でございます。当社は、武蔵野鉄道の創立から数えて115年目を迎え、一世紀を超える歴史の中で培ってきた信頼と実績を基盤に、新たな挑戦に向けた歩みを着実に進めております。これもひとえに、日々当社をご利用いただいているお客さま、沿線地域にお住まいの皆さまをはじめ、さまざまなステークホルダーの皆さまのご支援・ご協力によるものであり、ここにあらためて深く感謝申しあげます。

2026年度、当社は「西武グループ長期戦略2035・中期経営計画(2024～2026年度)」の最終年度を迎え、「沿線価値向上」「デジタル化」「働きがい向上」を重点テーマに、鉄道事業の安全性・快適性のさらなる向上と環境負荷低減を目指した取り組みを推進しております。山口線レオライナー「L00系」は2026年3月より、環境負荷の少ない東急電鉄からの譲受車両であるサステナ車両「7000系」は同年6月より営業運転を開始いたしました。2030年度までに車両のVVVF化100%達成を目指し、今後も省エネルギー化を推進してまいります。さらに、新宿線では有料着席サービスを刷新し、新車両「トキイロ」の2027年春の導入に向けた準備を進めております。

また、東村山駅付近連続立体交差事業は、2025年度に新宿線下り線の高架化が完了し、着実に進捗しております。加えて、中井～野方駅間連続立体交差事業ではシールドマシンの掘進を開始するなど、基盤整備を確実に積み重ねながら、新宿線の利便性と魅力を高め、選ばれる沿線づくりにこれまで以上に力を注いでまいります。

本年3月の運賃改定は、「安全」「安心」を最優先に、良質なサービスを将来にわたり提供し続けるために実施したものです。これを機に沿線価値向上はもとより、社員一人ひとりが働きがいを実感できる処遇・職場環境の整備を進め、デジタル技術の活用による利便性向上により最高のパフォーマンスを発揮できる会社を目指してまいります。

これからも挑戦による成長を重ね、地域社会との連携を一層深めながら、持続可能な未来の実現につながる取り組みを着実に進めてまいります。今後とも、皆さまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

役員および執行役員一覧

取締役会長	後藤　高志	常勤監査役	飯田　光男	常務執行役員	冨田　恭史
代表取締役社長	小川　周一郎	監査役	深澤　勲	執行役員	福岡　昌幸
取締役	山崎　公之	常務執行役員	鈴木　昌勝	執行役員	坂口　健二郎
取締役	町田　明	常務執行役員	石﨑　仁志	執行役員	金井　征志
取締役	石橋　憲司	常務執行役員	内野　誠	執行役員	藤野　充昭
取締役	後藤　啓二				

2026年6月24日現在

[グループ理念][グループ宣言][スローガン]から成る、
グループビジョンは西武鉄道で働くすべての仲間が心と力を
合わせて目指す未来像として、2006年に定められました。

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

グループ理念

私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、
安全で快適なサービスを提供します。
また、お客さまの新たなる感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。

グループ宣言

私たちは、「お客さまの行動と感動を創りだす」
サービスのプロフェッショナルをめざします。

1 誠実であること
常に、「安全」を基本にすべての事業・サービスを推進します。
常に、オープンで、フェアな心を持って行動します。
常に、お客さまの声、地域の声を大切にします。

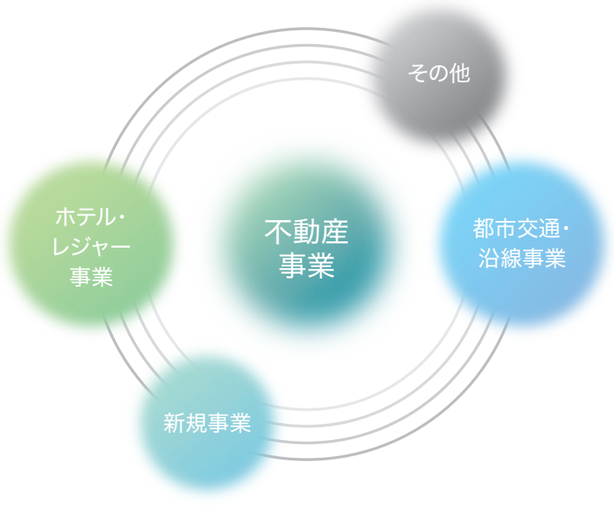
2 共に歩むこと
常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。
常に、地域社会の一員として行動します。
常に、グループ内外と積極的に連携を図ります。

3 挑戦すること
常に、グローバルな視点を持って行動します。
常に、時代を先取りする新しいサービスを提案します。
常に、お客さまの生活に新しい感動を提供します。

スローガン

でかける人を、ほほえむ人へ。

西武グループは、不動産事業を核としてグループシナジーを発揮し、
持続的な成長と社会的価値の極大化を実現し、
お客さまにかけがえのない空間・時間を提供します。



西武鉄道の事業

西武鉄道は、「住みたい沿線」「訪れたい沿線」を実現するため、安全・快適な輸送を継続するとともに、
沿線価値向上に主体的な役割を担います。

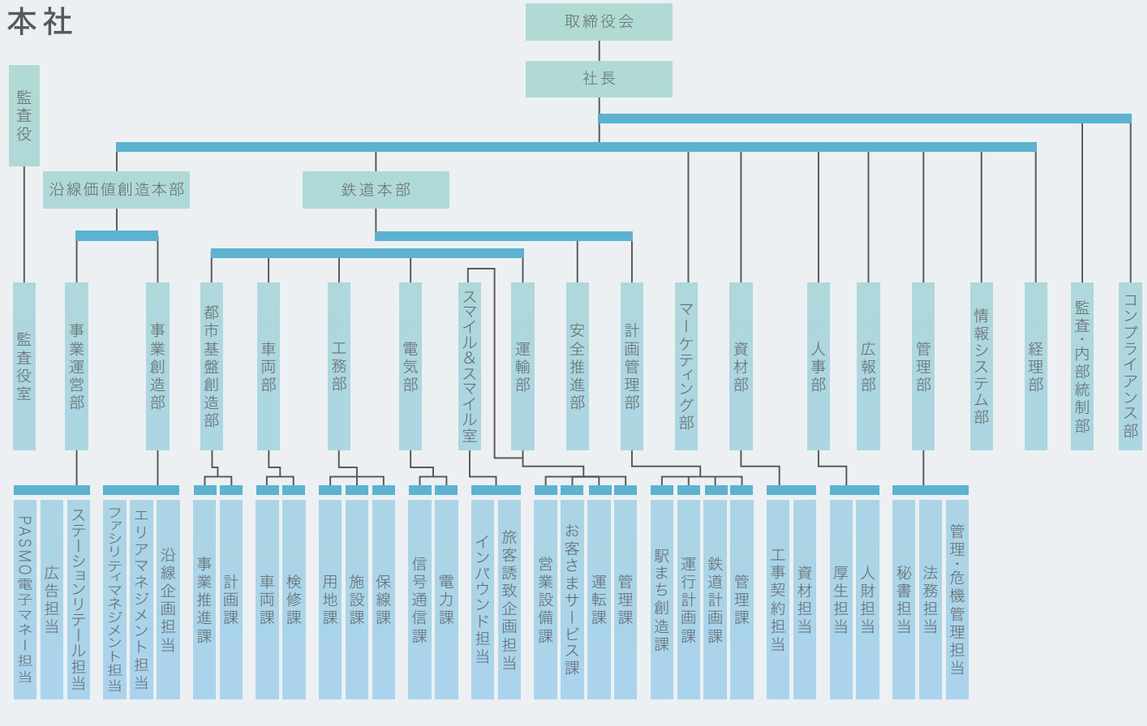
鉄道事業

池袋線・新宿線のふたつの幹線を中心とした176.6kmの路線を有し、2025年度は1日あたりおよそ169万人のお客さまにご利用いただきました。事業環境の変化に対応するため、業務のスマート化による効率的な事業運営、さらなるサービス向上につながる設備投資などにより快適で安定した交通ネットワークを提供します。

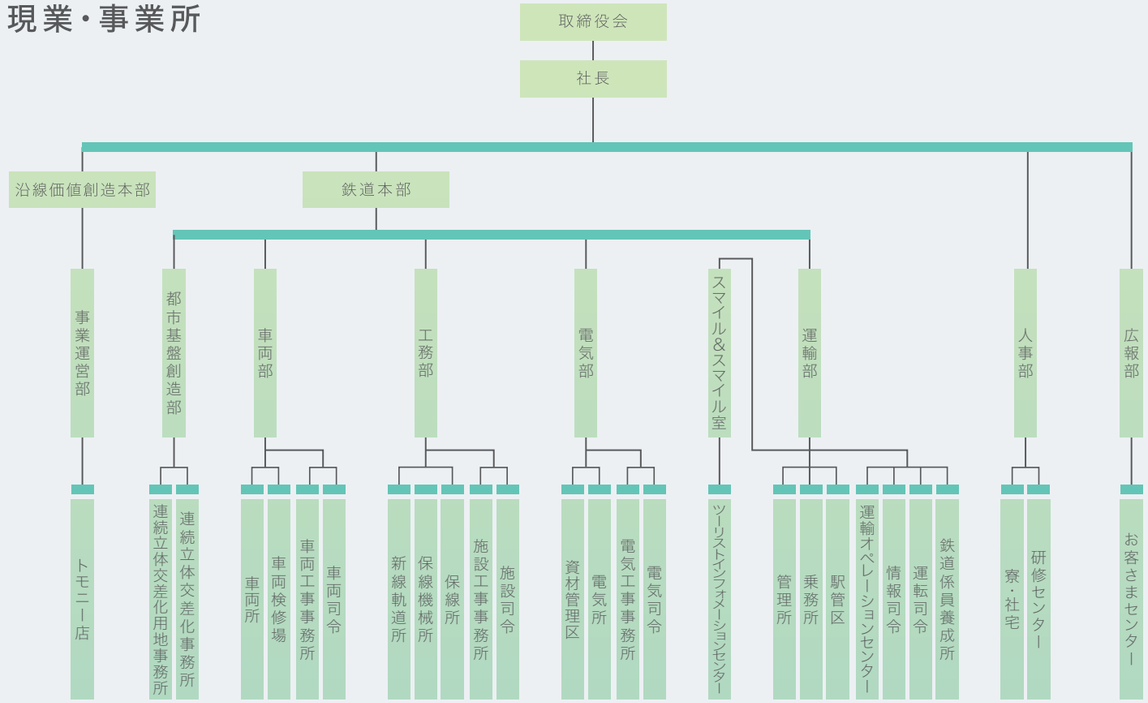
沿線価値創造機能

沿線にお住まいの方々には魅力を再発見していただき、沿線外の方々には何度も当社線をご利用いただけるように、沿線の活性化に努めています。沿線自治体や地域社会と連携しながら新規事業の創出やイベントの開催などにより、西武線沿線の魅力をさらに高めていきます。

本社



現業・事業所



05 数字で見る西武鉄道

By The Numbers

会社のあらまし

社名	西武鉄道株式会社 SEIBU RAILWAY Co.,Ltd.
設立	1912年5月7日
本店所在地	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
本社所在地	埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1
資本金	21,665,232,000円
事業内容	鉄道事業

従業員数	3,607人（2025年度末）
売上高	1,238億円（2025年度）
旅客営業キロ	176.6km
駅数	92駅（旅客駅のみ）
在籍車両数	1215両（2025年度末）
輸送人員	169万人（2025年度1日平均）
運輸収入	2億7,744万円（2025年度1日平均）

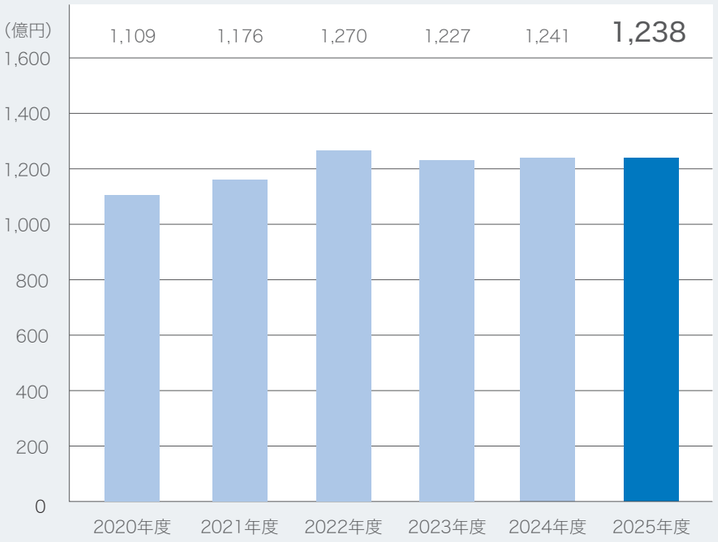
西武鉄道の路線別営業キロ

路線数 12路線

線名	区間	営業キロ(km)	線名	区間	営業キロ(km)
池袋線	池袋～吾野	57.8	新宿線	西武新宿～本川越	47.5
西武秩父線	吾野～西武秩父	19.0	西武園線	東村山～西武園	2.4
西武有楽町線	練馬～小竹向原	2.6	国分寺線	国分寺～東村山	7.8
豊島線	練馬～豊島園	1.0	拝島線	小平～拝島	14.3
狭山線	西所沢～西武球場前	4.2	多摩湖線	国分寺～多摩湖	9.2
山口線	多摩湖～西武球場前	2.8	多摩川線	武蔵境～是政	8.0

営業キロ　合計 176.6 キロ

最近6年間の営業収益（売上高）の推移（億円未満切り捨て表示）



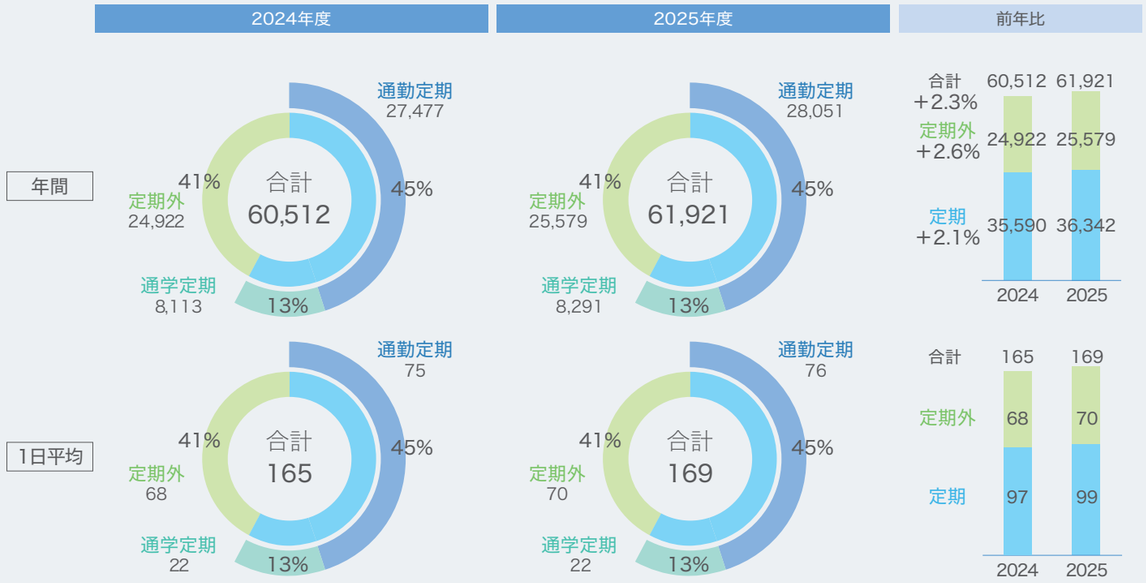
※グループ組織再編のため、2023年度より事業内容を鉄道事業に集中

駅別乗降人員（1日平均）

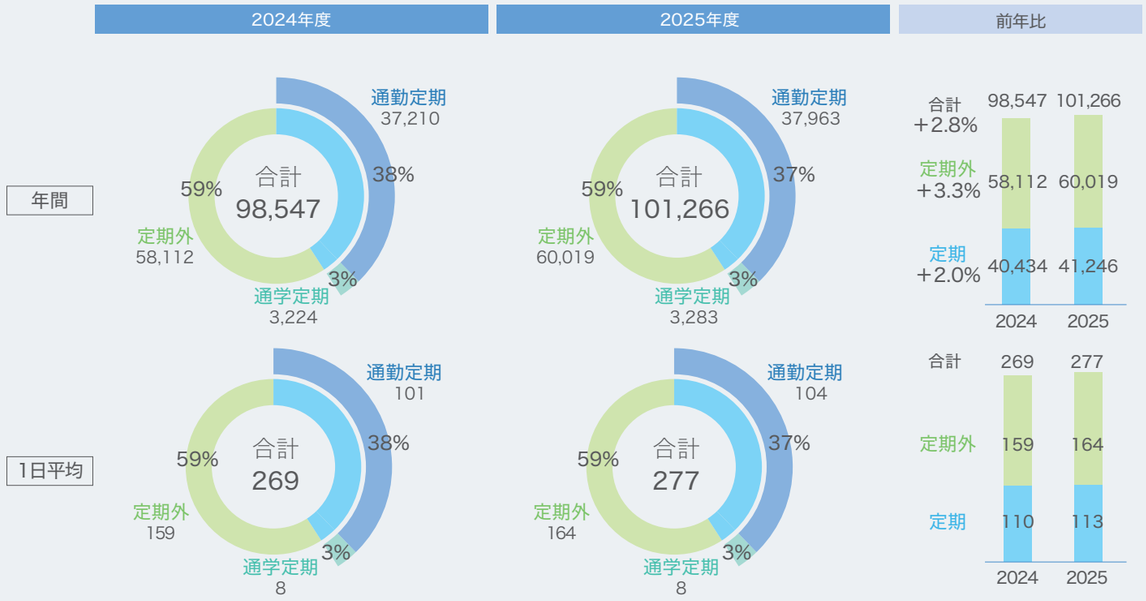
順位	駅名	2025年度
1	池袋	435,120
2	高田馬場	282,725
3	西武新宿	151,685
4	小竹向原	141,086
5	練馬	125,647
6	所沢	115,624
7	国分寺	113,077
8	大泉学園	81,649
9	石神井公園	78,417
10	秋津	77,917

（単位：人）

輸送人員（単位：万人）



旅客収入（単位：百万円）



※旅客収入は2023年3月18日より収受した鉄道駅バリアフリー料金を含めた数値です。　※数値には端数処理を行っています。

Pick Up!

当社では、2026年3月に運賃改定を実施しました。また、運賃改定の実施にあわせて小児運賃の均一化および「こども全線定期券」（小児用 PASMO限定の西武線全線フリー定期券）の発売を開始しました。

運賃改定の実施

新運賃について

普通運賃［初乗り］

ICカード	きっぷ
157円 ▶ 169円	160円 ▶ 170円

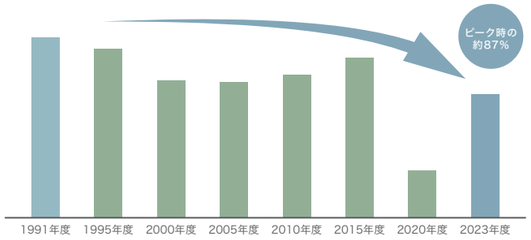
- 通勤定期運賃は、普通運賃の値上げ幅にあわせて改定しました。
- 通学定期運賃は、改定せず据え置きとします。

〈運賃改定の理由〉

1.これまでの経営状況

輸送人員は、沿線の生産年齢人口減少の影響等により、1991年度をピークに年々減少し、2023年度はピーク時の約87%となっています。コロナ禍以降、回復傾向にあるものの、テレワークの定着などアフターコロナの生活様式により、特に通勤定期旅客については、2023年度の輸送人員が2018年度比で約82.6%にとどまるなど、今後もコロナ禍前の水準に戻らないと見込んでいます。また、旅客運輸収入は、2018年度の1,005億円をピークに、コロナ禍を経て、2023年度は951億円（鉄道駅バリアフリー料金収入含む）と、約54億円の減少となっています。しかしながら、当社は厳しい状況下においても、消費税率変更によらない運賃改定は2002年以降実施しておらず、20年以上運賃水準を維持してきました。

輸送人員の推移



旅客運輸収入



2.運賃改定の理由

このような状況下においても安全・安心なサービスを提供するためには、設備の更新、連続立体交差事業、踏切安全対策、自然災害への対策などの各施策の推進確保するための従業員の処遇改善、職場環境改善が不可欠です。さらにホームドアなどのバリアフリー設備のさらなる整備やカーボンニュートラル実現への取り組みなども、公共交通機関としての社会的責任を果たすために重要であると考え、永続的に鉄道事業を運営し、お客さまへ良質かつ快適なサービスを提供するため、2002年以来24年ぶり(消費税率変更によるものを除く)となる運賃改定を実施することとしました。

今後の具体的な取り組み

安全・安心なサービスのさらなる追求

すべてのお客さまが安全に、安心して西武鉄道をご利用いただける環境の整備を引き続き推進します。

- ホームドア・固定柵の整備推進
- 全車両への防犯カメラの設置
- 自然災害対策工事の継続

沿線価値の向上

連続立体交差事業や駅舎建替など、各種大規模工事により次世代の新宿線を構築していくとともに、積極的な車両更新を通してより環境にやさしい西武鉄道を目指します。

- 新宿線連続立体交差事業による31ヵ所の踏切除却
- 40000系やサステナ車両など、車両更新を通した環境負荷軽減



デジタル化

デジタル技術を活用し、さらなるお客さまサービスの高度化や、鉄道オペレーションの効率化を図ります。

働きがい向上

施設リニューアルによる職場環境の改善や処遇改善を通して、将来を担う人財を確保し、持続可能な事業運営体制を確立します。

小児均一運賃の導入

新運賃について

小児・普通※	小児・通学定期［区間設定あり］※通学証明書が必要です	小児・通勤定期［区間設定あり］
IC運賃 1乗車 50円均一 ※6才～11才（小学生）	1ヵ月 500円	1ヵ月 1,000円

こども全線定期券

小児用PASMO限定 1ヵ月 1,000円

西武線沿線にお住まいのお子さまとそのご家族に、今まで以上に日々のくらしやおでかけを楽しんでいただきたいという思いから、西武線内の全区間において小児均一運賃を導入しました。さらに、小児 IC カード限定で 1 ヵ月1,000円で西武線が乗り放題となる「小児全線フリー定期券」の発売を開始しました。小児通勤定期における均一運賃導入、ならびに小児 IC カード限定の全線フリー定期券の導入は、大手民鉄初の事例です。

キッズ・ファミリー向け施策

〈西武鉄道子育て応援サイト〉

西武線沿線での家族のおでかけや子育てにまつわるさまざまな情報をお届けすることを目的に2026年3月に「西武鉄道子育て応援サイト」をオープンしました。西武線沿線で開催されるファミリー向けのイベントや体験、おでかけ先のヒント、西武グループの取り組み、西武線沿線２８自治体の子育て情報サイトへのリンクをまとめた自治体MAPなどを掲載しています。

〈西武鉄道キッズクラブ〉

０歳から小学校６年生までのお子さまが「西武線アプリ」に会員登録をすることで入会できる会員数12.000名を超えるサービスです（2026年2月末時点）。入会時や記念日などにグッズのプレゼントを行うほか、会員限定のイベント・キャンペーンの開催や会員証の提示による対象施設での特典や優待など、お子さまとそのご家族にさまざまな特典を提供してます。

06 取り組み Activities

西武鉄道では、安全・安心をはじめ、イベントや地域との連携、サービス向上やデジタル施策の推進、さらにはサステナビリティや人財戦略に関する具体的な取り組みを行っています。

安全・安心

鉄道事業設備投資計画

安全・安心なサービスの更なる追及を事業の根幹に「沿線価値向上」・「デジタル化」・「働きがい向上」を重点テーマとして鉄道事業設備投資を実施しています。2026年度は過去最大の総額462億円を投じホームドア整備、連続立体交差事業の推進や新造車両の導入などにより「住みたい沿線」「訪れたい沿線」の実現を目指します。

ホームドア整備

ホーム上からの転落や列車との接触を防ぐため、全駅（東飯能～西武秩父駅間各駅を除く）への整備を目指しています。
当面は、池袋～小手指駅間、西武新宿～新所沢駅間、小平～玉川上水駅間、豊島線、西武有楽町線各駅へ、おおよそ2030年代半ばまでのホームドア整備を目指しています。

〈2026年度の稼働を予定する駅〉
池袋駅（7番、特急ホーム）、中村橋駅、富士見台駅、新桜台駅
〈2027年度以降の稼働を目指す駅〉
2027年度稼働目標：池袋駅（1番ホーム）、東長崎駅、大泉学園駅、花小金井駅
2028年度稼働目標：椎名町駅、下落合駅、中井駅、田無駅
連続立体交差事業とあわせて整備：東村山駅（高架化後新宿線上り・国分寺線・西武園線ホーム）
※部材の調達状況などにより計画を見直すことがあります。

連続立体交差事業の推進

事業の推進により、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道の安全性が向上します。
また、鉄道により分断されていた地域が一体化され、高架下や地下化後の線路跡地に新たに創出される空間を活用することで、街の賑わい・活気を生み出し、新宿線の沿線価値向上を図ります。
現在、「中井～野方駅間」「東村山駅付近」「井荻～西武柳沢駅間」において事業を推進しており、「野方～井荻駅間」においても早期の事業化に向けて、東京都や地元自治体と協議し準備を進めています。
2025年6月には、東村山駅付近の新宿線下り線の高架化が完了しました。また、2026年5月から中井～野方駅間においてシールドマシンによる掘進を開始しました。

快適でシームレスな移動の実現

〈西武新宿駅と東京メトロ丸ノ内線新宿駅をつなぐ地下通路整備〉
2021年度に西武新宿駅からつながる新宿サブナードとメトロプロムナードを結ぶ新しい地下通路が、都市計画決定されました。これを受け、引き続き本通路の早期実現に向け具体的な検討および関係者との協議を進めます。

〈新秋津駅－秋津駅間の乗換改善〉
JR東日本と連携し乗換における利便性・安全性の向上、雨等に濡れない全天候型のバリアフリールート整備を目的として、両社の所有地を活用し新秋津駅と秋津駅を結ぶ乗換通路の2030年代前半の供用開始を目指して関係者を交え検討を進めています。

災害に強い西武線

西武鉄道は「武蔵野台地」を中心とする標高が比較的高い安定した堅固な地盤の上で鉄道事業を展開しています。
この地域は、地震が発生しても揺れにくい、液状化しにくいといった特徴があり、この特徴を強みとし、大規模な災害を想定した訓練や発災時の対応力強化に取り組んでいます。
備蓄品の拡充および緊急時駅周辺情報マップの作成など発災時の駅におけるサービスの強化や駅舎等の安全確認方法の整備に加え、自治体・企業との連携や情報発信を通じて、安全・安心な地域づくりを推進しています。
また、暮らしの安全・安心を足元から支えていき街の足元にある「地盤」を通じ、西武鉄道の災害への備えや沿線の地盤、安全・安心の取り組みへ関心を持っていただくため「西武鉄道のじまんはじばん」プロモーションを実施しています。

社員に向けた安全教育・訓練

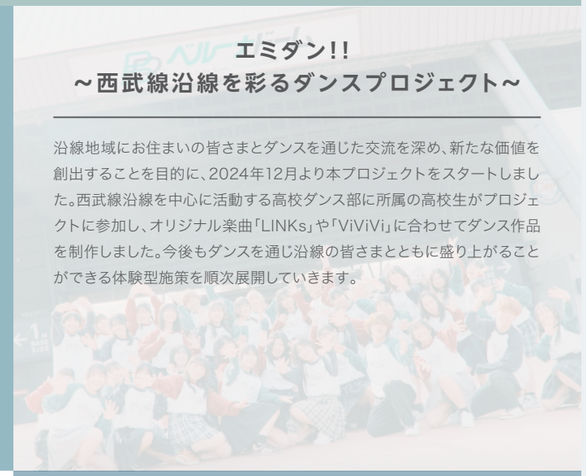
安全・安心の確保のため、社員に向けた安全教育や訓練等を実施しています。
〈安全共育室〉
研修センター内に自社および他社の事故情報などを展示、社員教育を行う「安全共育室」を設置しています。鉄道事業の特性について理解を深め、安全最優先意識の浸透を図り、より一層の安全性向上を目指しています。
〈緊急時対応訓練〉
大規模な災害・事故を想定した総合復旧訓練を毎年秋に実施しています。また、異常時訓練・過去の事例を受けた訓練・鉄道施設におけるテロ対応訓練などの各種訓練の実施により安全の確保に努めています。
〈駅まちレジリエンスの取組〉
2025年3月に所沢駅で所沢市と連携し「震災時のサービス提供訓練」を実施しました。2026年1月には駅に滞留している帰宅困難者を所沢駅周辺の一時滞在施設である「西武第二ビル くすのきホール」まで移動する手順の確認を行いました。

沿線価値向上

SEIBU BLUE ART STATIONの推進

「はじまりはBLUEから」というコンセプトのもと、通勤・通学やおでかけの際にご利用いただく駅に愛着を持っていただきたいという想いから、「青」を基調に各駅やその周辺エリアの特徴を想起させるアート作品を制作し、魅力的な駅空間を創出しました。2025年度は、アーティストによる壁画アートを入曽駅に展開しました。また、西武鉄道Webサイト内に特設ページを制作し壁画アートやアーティストの紹介をしています。

エミダン!!
～西武線沿線を彩るダンスプロジェクト～



沿線地域にお住まいの皆さまとダンスを通じた交流を深め、新たな価値を創出することを目的に、2024年12月より本プロジェクトをスタートしました。西武線沿線を中心に活動する高校ダンス部に所属の高校生がプロジェクトに参加し、オリジナル楽曲「LINKs」や「ViViVi」に合わせてダンス作品を制作しました。今後もダンスを通じ沿線の皆さまとともに盛り上がることができる体験型施策を順次展開していきます。

グループ連携施策
西武鉄道×プリンスアイスワールド

プリンスアイスワールド東京公演の開催にあわせて、西武メディア・コミュニケーションズと連携し、さまざまな企画を展開しています。
〈駅の推しプリンスアイスワールド（PIW）〉
西武線の各駅がそれぞれ“推し”のPIWチームメンバーを設定し応援することで、普段利用する駅を通じてプリンスアイスワールドだけでなく、プロスケーターであるチームメンバーに親しみを持っていただくことを目的に実施しています。
〈一部特急列車の臨時停車〉
公演の開始・終了時間に合わせて、会場のダイドードリンコアイスアリーナ最寄りの東伏見駅に一部特急列車の臨時停車を行いました。
〈地域とともに盛り上げる連動企画〉
プロスケーターであるチームメンバーが沿線イベントに出演し、地域を盛り上げました。さらに「プレショー」として沿線の高校生がダンス等の演目を披露しました。

グループ連携施策
西武鉄道×西武ライオンズ

埼玉西武ライオンズの2025シーズンにあわせて、鉄道利用をきっかけとした埼玉西武ライオンズへの興味喚起に繋がる施策を展開しました。
〈狭山線における選手の車内放送〉
ベルーナドームでのプロ野球一軍公式戦開催日に狭山線において選手たちが車掌になりきった収録音声を放送しました。
〈2026シーズン「駅の推し獅子（おしじし）」プロジェクト〉
各駅・各選手に対して親近感や特別感を感じ、駅を利用する新たな楽しみにしていただくことを目的に西武線91駅（小竹向原駅を除く西武線全駅）が、それぞれ応援する“推し”の埼玉西武ライオンズの選手（推し獅子（おしじし））を設定し、シーズンを通し装飾や演出などによって応援しています。

地域連携施策

「住みたい沿線」「訪れたい沿線」の実現に向けて、沿線自治体と連携し地域の魅力発信に取り組んでいます。
●沿線自治体でつくる西武線沿線サミットとの連携
●沿線自治体との連携協定締結（所沢市・飯能市・横瀬町・清瀬市）
●沿線活性化のためのプロジェクト（所沢エリア・飯能エリア・東村山エリアなど）

アニメ聖地

2024年12月、鉄道会社として初めて、一般社団法人アニメツーリズム協会に加盟しました。沿線を舞台にしたアニメ作品などを通じて、自治体や関係者と連携し、国内外のアニメファンや観光客に向けて、西武線沿線の魅力をより積極的に発信してまいります。
2025年は、大阪・関西万博の「クールジャパンショーケース／アニメ・マンガ ツーリズム フェスティバル」や「京都国際マンガ・アニメフェア２０２５（京まふ）」、2026年は「Anime Japan 2026」に出展しました。

サービス・デジタル施策

落とし物クラウド find

株式会社findが提供する「落とし物クラウド find」を導入し、年間約25万件にのぼるお忘れ物について、登録から返却までを一元管理しています。AIがお忘れ物の特徴を自動で判定し、スムーズかつ正確な登録・検索を行うことで、業務の効率化と返却率の向上を目指しています。

西武線アプリ

西武線を便利に快適にご利用いただけるスマートフォン用公式アプリです。最新の運行状況や列車の走行位置、西武バスの現在位置情報などを分かりやすく表示しています。また、アプリからもチケットレスサービス「Smooz」を経由して特急券・指定券を購入できるほか、スタンプラリーなど楽しいイベントもご利用いただくことができます。2026年3月に視認性向上のためのデザインリニューアルと西武グループの一部施設のチケット購入が可能になり、スムーズなおでかけを実現できる機能を追加しました。

Smooz

西武線アプリやWebサイトから特急券・指定券を手軽に購入できるチケットレスサービス「Smooz」を提供しています。乗車前の特急券への引き換えが不要でスムーズな乗車を実現し、リアルタイムで空席状況も確認できます。さらに、会員登録により「SEIBU Smile POINT」が貯まる・使える仕組みを整え、快適で便利なサービスの提供に取り組んでいます。

乗車ポイント

2022年7月からスタートした乗車ポイントサービスです。西武グループ共通会員サービス「SEIBU PRINCE CLUB」に登録したPASMOを使い、特定の条件で西武線・西武バスにご乗車いただくと「SEIBU Smile POINT」が貯まります。貯まったポイントはPASMOチャージ、特急券・座席指定券の購入のほか、駅ナカ・コンビニ「トモニー」やエミテラス所沢、Emio、軽井沢・プリンスショッピングプラザなどの商業施設、プリンスホテルのご利用、リゾートでのスキー&ゴルフプレー、ご家族で楽しめる水族館や遊園地など、全国のSEIBU PRINCE CLUB加盟店でもご利用いただけます。

タッチ決済

多様化するライフスタイルやニーズに対応し、お客さまの利便性向上のためタッチ決済対応のクレジットカードやスマートフォンを活用した乗車サービスの実証実験を2024年12月に開始しました。2026年3月には利用可能駅を58駅に拡大し、関東の鉄道事業者11社局の路線を対象としたタッチ決済による乗車サービスの相互利用が可能となりました。今後も段階的に拡大し、2027年3月までに西武線の全ての駅でタッチ決済に対応した改札機への更新作業を進め、より快適な乗車環境を目指します。

お身体の不自由なお客さまご案内業務支援システム

車いすご利用のお客さまや目の不自由なお客さまなどのご案内業務を、スマートフォンやタブレットを活用して支援するアプリケーションです。簡単な入力操作で、係員間のご案内状況をリアルタイムに情報共有できます。2025年10月からは「介助事前受付サービス」機能を追加し、ご乗車日前日の17時まで事前受付が可能となりました。今後も、すべてのお客さまに安全、安心かつ快適な鉄道サービスをご提供できるよう、継続的な改善に取り組んでまいります。

人財戦略の推進・サステナビリティ

はたらく人を、ほほえむ人へ。

「はたらく人を、ほほえむ人へ。」の実現に向け、西武鉄道人財戦略に基づき、以下をテーマとして各種取り組みを進めています。

●人財スキルの確保
オンライン学習サービスなどの豊富なコンテンツや充実した研修施設を備えるとともに、資格手当制度の導入などにより、スキルアップを図る環境を整えています。

●働きがいの向上
寝室や食堂等施設の充実を図るとともに、キャリア申告や公募型制度などにより主体的なキャリア形成を支援しています。

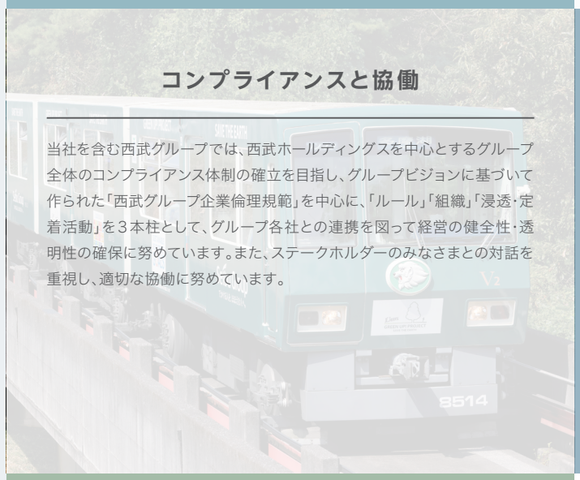
●ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)の推進
個人が最大限活躍できる組織に向けて、多様なライフスタイルと働き方を実現できる環境を構築するとともにオープンマインドな風土醸成により、DEIを推進しています。

働きがい向上

●食環境リニューアル
全社員の健康をサポートするため2024年3月から本社食堂をリニューアルするとともに、各職場の食環境のリニューアルを行いました。食堂施設のない職場には冷蔵もしくは冷凍庫を設置した「置き型社食」を導入し、社員は時間を気にせず温かい食事をとることが可能となりました。

●移動式休憩所
酷暑期の現場での熱中症対策として、キャンピングカーを用いた移動式休憩所を2026年春から導入しました。
鉄道会社においては珍しい取り組みで、屋外作業であっても快適性が担保されるのではないかという社員からの提案をもとに、トライアル期間を経て導入したものです。

コンプライアンスと協働



当社を含む西武グループでは、西武ホールディングスを中心とするグループ全体のコンプライアンス体制の確立を目指し、グループビジョンに基づいて作られた「西武グループ企業倫理規範」を中心に、「ルール」「組織」「浸透・定着活動」を3本柱として、グループ各社との連携を図って経営の健全性・透明性の確保に努めています。また、ステークホルダーのみなさまとの対話を重視し、適切な協働に努めています。

環境活動・地域貢献活動プロジェクト

持続可能な沿線地域の実現に向け、2016年度より「環境活動・地域貢献活動プロジェクト」を推進しています。年6回実施する本プロジェクトでは、公有地等における植栽や除草、竹林整備といった環境活動を実施しています。さらに、移動には西武旅するレストラン「52席の至福」を活用し、車内で沿線食材を用いた食育ワークショップを実施するほか、現地での茶摘みやたたき染め体験、星空観賞など、自然の恵みがもたらす秩父の魅力に触れられるプログラムもあわせて提供しております。今後も地域外から参加者を募り、お客さまとともに活動に取り組むことで、沿線地域の活性化と地域貢献を進めていきます。

カーボンゼロ

環境負荷低減に貢献するために、2024年より、列車運行に使用するすべての電力を再生可能エネルギー由来に切り替え、実質CO2排出量ゼロでの運行を実現しました。またインバータ制御車両の導入をはじめとする省エネルギー化を進め環境負荷低減に向けた取組みを継続しています。なお、山口線(愛称:レオライナー)では2021年度より使用する電気使用量のすべてを、西武グループ運営の「西武武山ソーラーパワーステーション」が発電する環境価値が付いた電力でまかなっています。

サステナ車両

2030年度末までに全車両の省エネルギー化(100% VVVF化)達成を目指し、「サステナ車両※」の導入を進めています。2024年5月には小田急電鉄より譲り受けた8000形が整備・改修を経て「8000系」として国分寺線等で運行を開始しました。また、東急電鉄より譲り受けた9000系は車両形式を「7000系」とし、2026年6月に狭山線で運行を開始しました。
※他社から譲受したVVVF化インバータ制御車両を西武鉄道独自の呼称として定義

07 電車図鑑・情報発信ツール

Train Guidery and Communication Tools

電車図鑑

西武鉄道で運行・運用している電車について、詳しくはWebサイトをご確認ください。

（2026年6月30日時点）



001系（ラビュー）



40000系



30000系（スマイルトレイン）



101系



©SEIBU Liond／TEZUKA PRODUCTIONS

8500系（レオライナー）



©SEIBU Liond／TEZUKA PRODUCTIONS

L00系（れおけい）



20000系



10000系（ニューレッドアロー）



9000系



8000系



7000系



西武 旅するレストラン「52席の至福」



6000系



4000系



2000系

運行開始予定の電車として

1 2027年春「トキイロ」導入

新宿線に新車両「トキイロ」を導入し、有料着席サービスを刷新します。「トキイロ」という愛称は「時の色」をイメージしています。



2 vies

「Laview（ラビュー）」をベースに1編成4両を新造し、車内で調理した温かいフルコース料理を提供します。国内最大の厨房面積を有する専用車両も連結します。



3 新宿線観光特急

現在の10000系「ニューレッドアロー」をリニューアルし、2028年度より西武新宿～本川越を結ぶ新たな観光特急として運行を開始します。またJR線への臨時直通運転も予定しています。



西武鉄道の情報発信ツール

X　Instagram　LINE　Facebook　YouTube

西武線アプリ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

Webサイト

- 西武鉄道
- 西武鉄道 子育て応援サイト
- SEIBU RAILWAY（多言語サイト）
- SEIBU NEWS fillute
- 西武鉄道の じまんはじばん
- 西武沿線情報マガジン GRUTTO PLUS くるっとプラス

西武鉄道公式キャラクター



レイルくん



スマイルちゃん



らびゅーくん

08 路線図 Network Map

（2026年6月30日時点）



商業施設
- PePe……3店舗
- Grand Emio……2店舗
- Emio……16店舗

駅チカ保育所
- Nicot……12所

ワークスポット
- EmiCube……4店舗

シェアオフィス
- Emiffice……4店舗

豊島園駅
豊島園 庭の湯

西武秩父駅
西武秩父駅前温泉 祭の湯

高田馬場駅
BIGBOX高田馬場

東伏見駅
ダイドードリンコアイスアリーナ

所沢駅
エミテラス所沢


東大和市駅
東大和スケートセンター　BIGBOX東大和


西武園駅
西武園競輪場


西武園ゆうえんち駅
西武園ゆうえんち


西武園ゆうえんち駅
中国割烹旅館 掬水亭


西武球場前駅
ベルーナドーム ©SEIBU Lions


西武球場前駅
狭山スキー場


西武球場前駅
西武ドームテニスコート


競艇場前駅
ボートレース多摩川

アクセス所要時分

（記載の所要時分は最速時分のため、時間帯、待ち合わせなどにより異なります）

池袋線・西武秩父線

池袋
- → 所沢 約19分
- → 飯能 約38分
- → 西武秩父 約77分

新宿線・拝島線

西武新宿
- → 所沢 約28分
- → 拝島 約43分
- → 本川越 約44分